



今、なぜ中核病院が必要なのか

問中核病院形成推進室 ☎ 21-3120

中核病院づくりに向け、
検討を進めています。



萩市民病院



都志見病院

■これまでの経緯

今年1月に1回目の中核病院形成検討委員会を開催し、市民病院と都志見病院の統合による中核病院づくりに向けた協議が始まりました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により一時中断しましたが、これまでに3回開催、「基本的な方向性」、「経営形態」について確認し、現在は、「診療科目・医療機能・病床規模」について検討を進めているところです。

診療科目等は、中核病院の最も重要な部分であることから、関係者と十分に時間をかけ、しっかり議論を行います。検討委員会の専門部会やワーキンググループで議論を重ね、また、市民の皆さんと意見交換を行い、中核病院づくりへの意見や要望を伺っています。

■中核病院形成検討委員会

萩市長（委員長）、萩市医師会長（副委員長）ほか、山口大学医学部附属病院院長などの学識経験者、萩市社会福祉協議会長などの市民代表の委員で構成。萩医療圏にふさわしい中核病院として担うべき医療や中核病院のあり方について検討します。

《次回の開催予定》

○第4回中核病院形成検討委員会（予定）

日11月20日(金) 14:00～16:00

場市役所大会議室

※会議の傍聴は、11月13日(金)までに電話申し込み

【検討項目】

○診療科目、医療機能

現在の2病院の診療科目や医療機能を基に、市外へ流出している患者のデータ分析結果等を踏まえ、中核病院でどのような医療を担っていくのか検討。

○病床規模

将来の患者数や医療需要の推移を踏まえ、中核病院で担う医療を行うためにはどの程度の病床数が必要か検討。

○2病院の機能分化、施設の活用方針

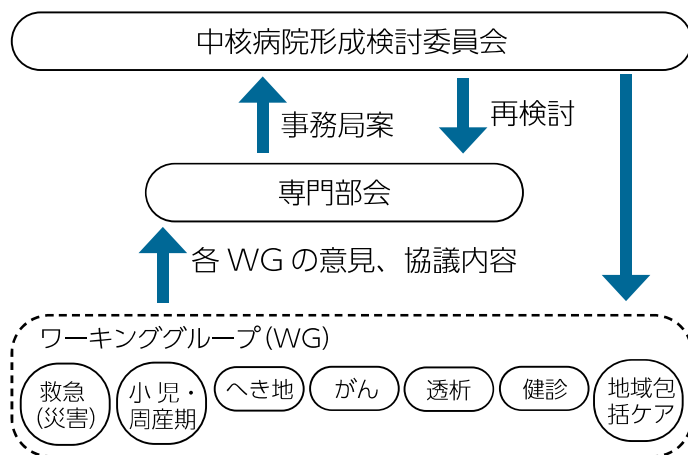
統合時に2病院でどのような診療を行い、各施設をどう活用するのか検討。

■専門部会

両病院の院長等の役職員で構成。検討委員会での協議を円滑に進めるために、事前に検討項目の内容を協議、調整します。

■ワーキンググループ

分野ごとに、両病院の医師・看護師等の医療従事者や、医師会等の関係者を交え、中核病院で担うべき医療について専門的な立場から協議します。



■検討スケジュールの見直し

新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、協議が中断し、当初の予定より遅れたため、また、協議の時間を十分に確保し、中核病院のあるべき姿について議論が尽くせるよう、検討期間の延長を含めた検討スケジュールの見直しを行います。

また、目標としていた令和4年4月の中核病院開設時期についても、見直すことも含め、現在検討を行っています。

■中核病院なんでもトーク

地域や団体の集まりなどで、中核病院づくりについて説明し、意見を伺う「中核病院なんでもトーク」を随時行っています。ご要望がありましたら、中核病院形成推進室までお知らせください。

これまでに開催した
検討委員会の概要はこちら⇒

